

第3回長野県食と農業農村振興審議会における 審議委員からの意見・提言について

全体を通じて

- ・ 10年後のめざす姿としては弱い、世の中の流れと比べても遅く感じる、**もう少しとがった目標がよい**のではないか 【山下委員】
- ・ 「豊かさ」や「幸福感」の見える化は困難、世代別や男女別で価値観も異なり、皆が同じ方向を目指すことも難しい 【武重委員】
- ・ 農業者はもちろん、農業者以外の県民も計画を理解して一緒に実現していくものなので、**分かりやすい内容**にしてほしい 【所 委員】
- ・ 南信州も長野県なので、地域特性を鑑みて、**地域性を持った計画**にしてほしい 【竹村委員】

I 産業としての農業振興（皆が憧れ、稼げる信州の農業）（仮）

→ I 皆が憧れ、稼げる信州の農業（産業としての農業振興）

1 皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

- ・ 「皆が憧れる経営体」なんて夢のような話で、5年先くらいの目標とすれば、実現は難しいのではないか 【中村委員】
- ・ 「子どもたちが憧れ」とあるが、次代を担う意味では「若者」も加えるべきではないか 【竹内委員】
- ・ 農業生産構造を担い手、農地、生産で項目立てているが、農地の課題は多いので農地だけで項目立てすべき 【所 委員】
- ・ 3000万円でトップランナー、10億円でエグゼクティブ経営者なら、その間に**1億円の目標**があるべきでは 【中村委員】

ア 中核的経営体の確保・育成

- ・ 季節労働者の確保が年々困難、運転免許取得のため長野県でもベトナム語対応の本免学科試験の実施希望 【山本委員】
- ・ ミャンマー語対応の本免学科試験も実施希望、経営者として外国人材の厚生年金まで払う必要があるのか 【中村委員】
- ・ 季節雇用は確保が年々困難、**異業種と農業との間で労働力の補充**ができればよいのではないか 【山下委員】
- ・ 1日農業バイトは効果が高い、**地域全体で労働力を融通し、支え合う**ことを先進県として発信してほしい 【武重委員】
- ・ 女性農業者や季節雇用のパートさんが働く場へのお手洗いの設置を支援してほしい 【竹村委員】

→ア 信州農業をけん引する中核的経営体の確保・育成

→イ 新規就農者の安定的な確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・新たに追加

- ・ 特に果樹では家族経営の方が災害にも強く新規参入よりも**親元就農への支援が重要**、企業参入は最終手段 【中村委員】
- ・ 独立就農に向けて2年の研修期間では短いと思うので、**里親制度の見直しも必要**ではないか 【中村委員】
- ・ 同じ県内でも南北で求められている里親制度が異なるため、**地域ごとに幅を持たせた制度**にしてほしい 【竹村委員】
- ・ 担い手不足からの新規就農者の確保促進について、**県や市町村の役割**を入れ込むべきではないか 【藤巻委員】

イ 地域計画（人・農地プラン）に基づく担い手確保と農地集積の推進

- ・ 人・農地プランはなかなか進まないため、**ゾーニングの大切さを周知**することが必要 【矢島委員】
- ・ 大規模経営ではなく、**家族農業でもしっかりと稼げるような施策**が必要 【依田委員】

→ウ 地域農業の将来像の明確化による担い手確保と農地集積の推進

ウ 多様な担い手の呼び込みによる支え手の確保

- ・ 「未来の担い手」として「若者」へも積極的にアプローチすべき、一時的ではなく**継続的な取組**を期待 【竹内委員】
- ・ 子どもたちが「農業ってカッコいい」と思うため、農業トップランナーや半農半Xの**積極的な紹介**が必要 【矢島委員】
- ・ **農福連携**による農産物への付加価値など、福祉事業者側だけでなく農家側への支援も必要 【矢島委員】

→エ 多様な人材の呼び込みによる支え手の確保

2 「稼げる農業」の創出と持続的な信州農畜産物の生産

- ・ 人によって感覚が異なり「稼げる」**程度にバラツキあり**、「他産業にも負けない」くらいの表現でどうか 【山本委員】
- ・ 「皆が憧れる」や「稼げる農業」などの具体的な目標が言葉で表現されていてよいと思う 【矢島委員】
- ・ 「稼げる農業」の**定義が曖昧**、「魅力的な農業」など斬新な表現もよいが、農業者としては夢のような話 【中村委員】
- ・ 裏を返せば「稼げていない」や「皆から憧れられていない」と受け止められるので、**言葉の使い方は慎重に** 【武重委員】
- ・ 「儲かる」は日本人の感性だと嫌らしく感じるが、魅力ある農業で担い手を確保するため「儲かる」は重要 【依田委員】
- ・ 「稼げる農業」を「安定・自立を目指す農業」等の**柔らかい言葉**としてはどうか 【藤巻委員】
- ・ **品目別の施策展開を詳細に記載**するのは違和感がある、別冊でもよいのではないか 【所 委員】

→2 「稼げる農業」の展開と信州農畜産物の持続的な生産

ア ニーズに応える信州農畜産物の生産（果樹又はぶどうで特出しを検討）

- ・ 須高産地の果樹園のほとんどが水田転作、今後の米や麦、野菜、飼料作物をどうしていくか考えてほしい 【所 委員】
- ・ 肥料や防疫の問題についても記載してほしい 【所 委員】
- ・ きのは口ロス率が高く収益の減少につながる、**ロス率を下げる**ことは産業の基本であり工業製品に共通 【倉崎委員】

→イ マーケットニーズに応える信州農畜産物の生産

→ア **くだもの王国づくりの推進**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **新たに追加**

- ・「果樹」や「ぶどう」の特出しは非常にありがたい、「シナノリップ」の育成者権はいつまでなのか 【中村委員】
- ・園芸作物の特出しはぜひやっていただきたい、今後の展開方向を示すことは重要 【所委員】
- ・りんごやももはニーズに応えられていないので、行政の政策で品目バランスをとってほしい 【倉崎委員】
- ・最近ではシャインマスカットの品質にバラツキあり、ブランドの品質基準を決めたほうがよい 【倉崎委員】
- ・改植の補助事業のメニューにワイン用ぶどうを加えて、県の特産物としてワインを売り出してほしい 【竹村委員】
- ・果樹は災害による廃棄で著しく減収するので、被災果実の受け皿として加工体制・基盤を整備してほしい 【竹村委員】

イ **農村のDX及びスマート農業の推進による生産性の向上**

- ・スマート農業を、もっと大きく取り扱ってほしい 【所委員】
- ・スマート農業の導入推進に取り残されないよう、高齢化が進む農業者への支援も必要ではないか 【藤巻委員】

→ウ **農村のDX及びスマート農業の推進による生産性の向上**

ウ **有機農業等の持続可能な農業の面的拡大と安全安心な農畜産物の生産**

- ・「みどり戦略」は消費者側の理解が不足、農業を地域で支えることの県民理解を得る取組を進めるべき 【武重委員】
- ・長野県有機農業プラットフォームについて、市町村の枠を超えた積極的な更なる活用を追加すべき 【藤巻委員】
- ・海外情勢の変化による肥料・飼料価格高騰により、脱炭素農業、有機循環農業の重要性が増している 【統木委員】
- ・「みどりの戦略」に基づく実効性のある施策（生産者を応援するサポート体制と補助金の充実等）を期待 【清野委員】
- ・「オーガニック・ビレッジ」構想の実現により、生産者と消費者を結び地域活性化につながることを期待 【清野委員】

→エ **有機農業などの持続可能な農業の面的拡大と安全安心な農畜産物の生産**

エ **持続可能な農業を推進するための技術の開発・普及**

→オ **持続可能な農業を推進するための技術の開発・普及**

オ **稼ぐ産地を支える基盤整備の推進**

- ・災害を想定した基盤整備と、葉物野菜など産地ごとにブランド化し付加価値を付けることを追加すべき 【藤巻委員】

→カ **稼ぐ産地を支える基盤整備の推進**

3 実需者ニーズに対応した県産農畜産物の販路開拓・拡大

- ・環境にやさしい農産物認証や有機JAS認証、おいしい信州フードなど、認証等を取るメリットが薄れてきているので、「稼ぐ力のサポート」の中に認証等を取ることを意味やメリットを入れほしい 【中村委員】

ア **県オリジナル品種などの県産食材の魅力（価値）発信**

→ア **県オリジナル品種など県産食材の魅力・価値の発信**

イ **稼ぐ力の強化につながる輸出の拡大**

ウ **多様な主体との連携や農村資源の活用による新たな価値の創出**

→ウ **多様な主体との連携や地域資源の活用による新たな価値の創出**

エ **多様なニーズに対応した流通機能の強化**

II 暮らしの場としての農村振興（well-beingを実現する信州の農村）（仮）

→II **しあわせで真に豊かな暮らしを実現する信州の農村（暮らしの場としての農村振興）**

1 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- ・鳥獣被害対策として、猟師の担い手不足への支援も必要ではないか 【竹村委員】

ア **地域計画（人・農地プラン）に基づく適切な農地利用**

- ・若者や担い手が少ない地域で、地域住民や都市農村交流者が支え合いながら農業が継続されるためには、**棚田保全**のような呼び込みに対する支援も必要ではないか 【矢島委員】
- ・農福連携についても明記すべきではないか 【藤巻委員】

→ア **地域農業の将来像の明確化による適切な農地利用**

イ **多様な人材の活躍による農村の振興**

ウ **地域ぐるみで取り組む多面的機能の維持活動**

エ **農村RMOの組織化推進による農村コミュニティの維持**

- ・市町村の役割について、暮らしの場としての農村コミュニティの維持に消費者も含まれるなら明記すべき 【藤巻委員】

→エ **農村型の地域運営組織の組織化推進による農村コミュニティの維持**

2 安心安全で持続可能な農業・農村の基盤づくり

- ・ 農業・農村の防災・減災、農業の省エネ化と自然エネルギー活用、鳥獣害対策、農村生活環境整備に分ける【所 委員】
- ・ 凍霜害、風食、雪への対策など**自然災害全般への対策**も記載してほしい【所 委員】
- ・ 農地を活用して太陽光発電エネルギーを創出し、生産現場で自家消費する「**エネルギーの地産地消**」も重要【清野委員】

→2 安心安全で持続可能な農業・農村の基盤づくり

ア 災害から暮らしを守る農業・農村の強靱化

イ 持続可能な営農を支える農地・農業用施設等の整備

→イ 持続可能な営農を支える農地・農業用施設等の整備

Ⅲ 生産と消費を結ぶ信州の食の展開（魅力あふれる信州の食）（仮）

→Ⅲ 魅力あふれる信州の食（生産と消費を結ぶ信州の食の展開）

1 食の地産地消などエシカル消費の推進

ア 持続可能な暮らしを支える地産地消・地消地産の推進

- ・ 労働力も消費も含めて、**地産地消、地域で回す発想**を入れてほしい【武重委員】
- ・ **市町村の役割**として、農産物直売所など農業者と消費者をつなぐ場に対する取組も追加する【藤巻委員】
- ・ 農産物直売所でSDGsをテーマとしたマルシェやイベントを開催すれば持続可能な農業につながると思う【藤巻委員】
- ・ 地産地消につなげるための**関連企業との連携**も追加すべき【藤巻委員】
- ・ **直売所の機能強化**だけでなく、消費者が求めやすい**地元スーパーマーケットでの販売連携も強化**されたい【竹内委員】
- ・ 生産者を守るため、フードロスの観点からも、**消費者による被害果実や規格外野菜の積極的な購入も重要**【清野委員】
- ・ 地域への愛着の醸成も必要【清野委員】

イ 有機農産物など環境にやさしい農産物等の販売消費拡大

- ・ **環境負荷の低減、有機農業、アニマルウェルフェア**等による商品価値を消費者に伝えていただきたい【清野委員】

→イ 有機農産物など環境にやさしい農産物等の消費拡大

2 次代を担う若者への食の継承

→2 次代を担う世代への食の継承

ア 伝統野菜など地域ならではの食の継承

- ・ 郷土食や地元野菜など、食の体験を次世代に伝えていく活動が大切【清野委員】

→ア 伝統野菜など地域ならではの食文化の継承

イ 農業者と関係機関の連携による食育・農育の推進

- ・ オンラインによる食育など、離れた場所でも農に触れることができる方法が増えた【矢島委員】
- ・ 学校給食への食材提供のため、直売所を核とした流通事業者との連携のためにも、**直売所の強化は必要**【矢島委員】
- ・ 家庭での食の貧困が問題となっているが、学校給食を通じて**親も食を学べる機会があればよい**のでは【山下委員】
- ・ 食品ロスに絡めてアレルギーによる差別等に対する配慮がなされている姿を追加すべき【藤巻委員】
- ・ 生産者と消費者の双方の思いをつなぐパイプ役となる人材を育て、**生産現場と消費者を結ぶシステム構築**【清野委員】

共通視点：「食料安全保障」

- ・ 医食同源で食が重要となり、海外情勢等からも**食料自給率の向上**を目標としなければ、小手先の施策体系になってしまう【依田委員】
- ・ **食料安全保障**も踏まえ、**地域内経済循環**を施策体系に入れないと、国際化の流れに翻弄された施策体系になってしまう【依田委員】
- ・ **食料安全保障を計画に入れることは難しい**と思うので、前書きの現状分析などで触れる程度でよい【所 委員】